



フローレンス・ナイチンゲールの生誕にちなみ制定された「看護の日」（5月12日）に併せて、当院においても「看護の心をみんなのこころに」をメインテーマにイベントを開催しました。地域のみなさんと看護師がふれあう素敵な時間となりました。



- 『看護の日』
- シリーズ 部門プロフィール「リハビリテーション技術科」／『ふれあい講座』開催しています！！
- 『石見銀山医学会』開催／『防火避難訓練』／『地域連携研修会』
- 着任医師のご紹介／熱中症予防／病院からのお知らせ／編集後記

和

誠意

奉仕

- 1) 大田二次医療圏の中核病院として、5疾病5事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2) 病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3) 地域で必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4) 訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5) 医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6) 職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。

『石見銀山医学会』開催

令和5年6月8日（木）、大田総合医育成センター外科系教授 山口峰一医師を座長に、第14回石見銀山医学会が大田市立病院で開催されました。糖尿病看護認定看護師の当院看護部 白根弘美看護師が「糖尿病の合併症が少ない地域にするために」と題して、糖尿病外来での症例の紹介を通して患者さんへの関わり方、指導の重要性について述べました。また、市内医療機関との連携を不十分と感じていること、糖尿病療養指導士とも協力し病診連携の強化が必要不可欠であることなども述べました。新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止していた糖尿病患者会や糖尿病教室も再開予定とのことで、今後の活動を少しずつ広げていきます。

次に、5類へ移行された新型コロナウイルス感染症について、当院 呼吸器内科 濱口俊一医師より『当院におけるCOVID-19診療の現状』、須田医院 須田道雄院長より『新型コロナ政策を通して考えたい医療の枠組み』として、それぞれ発表がありました。お二人の異なる視点からの講演で共通して強調されたことは、感染予防、重症化予防のためには普段の体調管理が極めて重要になるため、日頃からのちょっとした変化への意識をもつことが大切だということでした。当日、大田市医師会からは、福田一雄 会長、小野眞一 副会長にご来場いただいた

ほか、オンライン参加も含め46名にご参加いただき有意義な講演会になりました。

大田市医師会と当院の学术交流の場として、次回以降もより充実した学会にしていきます。



「発表者」



白根看護師



濱口医師



須田医師

地域連携支援プロジェクトチーム

『地域連携研修会』

榎原研 副院長を委員長として活動している地域連携支援プロジェクトチームでは、院内外の関係機関のみなさまと集まるプラットフォームづくりを目的として「地域連携研修会」を随時開催しています。

令和5年度第1回目は、『『生きる』と『食べる』を考える～嚥下障害について、私たちができること～』をテーマに、オンラインによる講義形式で、6月7日（水）に研修会を開催しました。圏域の医療・介護・福祉関係者約100人にご参加いただき、当院リハビリテーション科 石原弘基医師からは嚥下造影検査の説明や検査実施状況の報告、今若哲也言語聴覚士は、嚥下機能スクリーニング検査の現状などの症例を交えながら紹介しました。

圏域での課題や傾向、かかりつけ医、歯科医への相談の大切さなどについて情報共有が図られました。今後も継続して研修会を開催していきます。



『防火避難訓練』

6月30日（金）に今年度初回となる防火避難訓練を行いました。5階北病棟の病室からの出火を想定した訓練では、様々な患者役に扮した職員に対し、迅速かつ適切な避難や消火の対応ができるよう訓練を行いました。

防火訓練では、大田市消防本部職員の指導のもと散水消火栓の操作訓練を行いました。

当日は、あいにくの雨のため屋外での消火器・避難器具での実践訓練は行うことができませんでした。

今後も万一の事態に備え、定期的に訓練を行うとともに、職員の防災意識も高めていきます。



「スタッフが患者さんを誘導」



「散水消火栓の使用方法を説明」

シリーズ 部門プロフィール 『リハビリテーション技術科』

～みんなで伸ばそう健康寿命～

みなさん、『リハビリテーション』と聞くとどんなイメージをお持ちになれますか？

大田市立病院では、病気やケガをしてすぐに始める「急性期リハ」、症状が落ち着きしっかりリハビリをして退院を目指す「回復期リハ」、退院後の生活を支える「生活期リハ」まで幅広く対応しています。加えて、近年では病気やケガをしないように過ごせる「介護予防」にも取り組んでいます。その一環として、大田市が行っている下記のような介護予防の取り組みに年間45回（令和4年度実績）職員を派遣しています。

- 地域ケア会議…地域包括支援センターが主催する、地域課題や個別ケースの検討を行う会議に、専門職としてリハ職員を派遣し、助言や指導を行います。
- 住民通いの場…市内22地区に設置された高齢者通いの場で「0854-8体操」の指導や体力測定の実施、生活指導などを行うためにリハ職員を派遣します。

リハビリテーション技術科では、病院内だけにとどまらず地域に出向いて、医療や福祉、介護に従事する関係者への支援も積極的に取り組んでいます。高齢者が多い大田市だからこそ、健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）を、できるだけ長く過ごせるよう病気やケガをしない取り組みが大切です。

お住まいの地域にある通いの場やサロン活動などで実施される介護予防の取り組みをぜひご活用ください。



「地域ケア会議へ参加」



「通いの場での体操指導」

『ふれあい講座』開催しています！！



「ふれあい講座の様子」

看護部では、「地域の皆様に信頼され、安全、安心な看護を提供します」という理念のもとで看護を行っています。健康に関する知識や情報を提供し、疾病予防、健康維持に役立てていただくため、モニター上映やポスター等を通じて情報をお伝えしています。

今年度は、毎月1回、みなさんと実際にふれあいながらの交流を行います。第1回目は、7月18日（火）、1階外来待合室及び総合受付付近にて、「救急外来の受診はどうするの？～受診のタイミングについて～」を開催しました。

ムカデにかまれた場合や、ハチに刺された場合など、夏ならではの話題をフリップを用いて外来スタッフが紹介しました。今後も1階・2階外来待合室付近において毎月開催します。

モニター上映：平日 8:30～17:15（1階内科待合ホール）

上映月	内容
7月～8月	 救急外来の受診はどうするの？ ～受診のタイミングについて～
9月～10月	 骨盤底筋って知っていますか？ 体操で女性の悩みを解決しましょう！！
11月～12月	冬のスキンケア ～日常でできるケアを学びましょう～
R6.1月～2月	 インフルエンザ・ノロウイルスなどの 感染症について

※1階外来待合室設置のモニター

では、上記内容で常時上映しています。

ご不明な点などあれば、お近くのスタッフまでお気軽にお声がけください。



「外来スタッフ一同」

～着任医師のご紹介～

大田市の小児医療に貢献できるよう
頑張ります！！
よろしくお願いいたします。



小児科医員
なかむらみく
中村 実来
医師

1日に必要な水分量

1日約 1,000ml ～ 1,500ml

お茶や水で水分を摂りましょう！



★1日の上手な水分のとり方



起きた時



朝食時



10時頃



昼食時



3時頃



夕食時



お風呂上り



寝る前

★その他注意したいこと

①寝る前にも水分 ②枕元にも水分

③のどが渇かなくても水分 ④運動や農作業前にも水分 が大切です。

※アルコールやカフェインを多く含むコーヒーや緑茶は、水分補給としては適していません。

病院からのお知らせ

院内ボランティア【カーネーション】



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、活動休止していたボランティア活動を6月19日(月)より再開しました。

来院された方に、笑顔での対応を心がけていますが、

「再開したんですね」とお声をかけていただき、こちらの方が励まされています。休止中は、ボランティアスタッフ自身が患者として病院にお世話になることがあり、様々な気づきがありました。

活動休止期間が長引き、戸惑う場面もありますが、患者さんの立場になり、わかりやすい説明を心掛け、お役に立てよう頑張っています。お気軽にお声がけください。



カーネーション代表 森山朝子

～編集後記～

3年前までの生活が少しずつ戻ったと感じることは、行動制限が思いがけないものをもたらしてくれたことで。この間に新しいことを始めた方も多いのではないのでしょうか。私も再開したことやチャレンジしたこと、アフターコロナに備えて思い切って準備した事業の開始などありました。良いことばかりではありませんでしたが、みんなで励まし合えたからこそ、前を向き一歩ずつ進んでこれたと感じています。

(M・M)



大田市立病院の様々な情報を
ホームページ・facebookに掲載しています。



大田市立病院
大田総合医療センター



facebook いいね！
大田市立病院

発行

大田市立病院 広報委員会

〒694-0063

島根県大田市大町吉永

1428-3

TEL:0854-82-0330

FAX:0854-84-7749